

平成29年度(2017年度)

管理事業名	総合福祉会館事業				総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第4節 地域での暮らしを支えるまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 1	社会福祉費	(目) 10 総合福祉会館費
部局名	福祉部	予算執行所属	総合福祉会館			
予算大事業名 一般事務事業 施設管理事業 福祉活動の場提供事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要	高齢者、障がい者、母子、福祉等の関係団体に対し、貸館等で活動の場を提供します。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
延べ利用者数	人	78,715	80,475	80,212	総合福祉会館の会議室等の延べ利用者数
成果の説明	総合福祉会館は、3センター機能(高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉)をもっており、それらを対象とした事業(市主催の事業及び各種団体主催事業)を行っているため公共性も高くなっています。また、関係福祉団体等の福祉活動の拠点として利用率は高いです。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	52,338	1,820	1,202	△618
経常収入 小計(a)	52,338	1,820	1,202	△618
給与関係費	39,010	38,589	37,813	△975
物件費	66,331	64,307	65,065	758
維持補修費	53,896	18,583	12,876	△5,707
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,108	3,358	1,972	△1,386
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	35,869	36,685	46,630	9,945
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,673	2,719	2,287	△432
退職手当引当金繰入額	7,051	2,197	188	△2,008
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	205,938	166,438	166,632	194
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△153,600	△164,618	△165,429	△812
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△153,600	△164,618	△165,429	△812
一般財源充当額	126,020	282,988	121,838	△161,150
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△27,580	118,371	△43,591	△161,962

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬
物件費	保安・清掃・警備業務委託料 36,370千円 光熱水費 14,493千円 消耗品費 3,994千円
維持補修費	自動火災報知設備取替修繕 6,685千円 減圧水槽取替修繕 2,894千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	52,338	1,316	1,202	△114
行政サービス活動支出	166,111	130,400	123,041	△7,360
行政サービス活動収支差額	△113,773	△129,084	△121,838	7,246
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	12,247	153,904	-	△153,904
投資活動収支差額	△12,247	△153,904	-	153,904
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△126,020	△282,988	△121,838	161,150
一般財源充当額	126,020	282,988	121,838	△161,150
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 行政財産目的外に伴う光熱水費等1,202千円 (投資活動支出) 平成29年度は工事がなかった為支出なし
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	78,715人	2,616円	総合福祉会館利用者一人あたり2,077円のコストがかかっています。
	平成28年度	80,475人	2,068円	
	平成29年度	80,212人	2,077円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,719	2,287	△432
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,719	2,287	△432
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	1,886,641	1,840,011	△46,630	固定負債	30,751	28,144	△2,607
土地	1,011,024	1,011,024	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	875,617	828,987	△46,630	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	30,751	28,144	△2,607
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	504	504	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	33,470	30,431	△3,039
土地	-	-	-	純資産	1,853,675	1,810,084	△43,591
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	長期借入金	-	-	-
重要物品	-	-	-	退職手当引当金	30,751	28,144	△2,607
図書館資料	-	-	-	リース債務	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
出資金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,887,145	1,840,515	△46,630
長期貸付金	-	-	-	純資産の部合計	1,853,675	1,810,084	△43,591
基金	-	-	-	流動負債	2,719	2,287	△432
徴収不能引当金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
その他債権	-	-	-	賞与引当金	2,719	2,287	△432
資産の部合計	1,887,145	1,840,515	△46,630	未払金	-	-	-
				リース債務	-	-	-
				その他流動負債	-	-	-

Ⅲ 財務構造分析

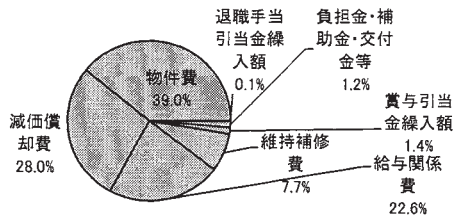
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均 4.15人	月平均 1人	年間従事延日数 218日	実人数 人	
給与関係費等	33,363千円	4,814千円	1,912千円		40,089
内、時間外勤務手当	856千円				

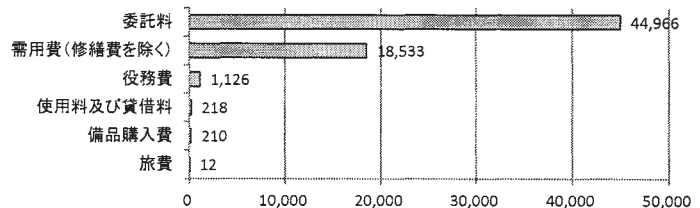
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	建物・工作物の減価償却による減 46,630千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立総合福祉会館
取得年月日	昭和62年(1987年)4月1日
建物・工作物の取得価額	1,952,094千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,123,107千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	3.0	1.0	0.7	△0.3
施設老朽化比率	57.8	55.1	57.5	2.4
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	70.7	99.5	99.0	△0.5
経常費用対公共資産比率	11.5	8.5	8.5	0.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費 37,613千円(22.6%)、物件費 65,065千円(39.0%)、維持補修費 12,876千円(7.7%)、減価償却費 46,630千円(28.0%)となっています。物件費の主な内訳としては、保安・清掃・警備業務委託料 36,370千円、需用費(光熱水費 14,493千円、消耗品費 3,994千円 など)となっています。

施設老朽化比率は57.5%で昨年と比較して老朽化が進行しています。施設維持補修費比率は0.7%となっています。

経常収入につきましては、その他収入として、行政財産目的外使用に伴う光熱水費等が1,202千円 などとなっています。費用の99.0%が税金などの一般財源でまかなわれている事業です。(平成27年度は大阪府市町村振興協会市町村交付金(50,904千円)を受けたため、一般財源充当比率が低くなっています。)

▽分析結果を踏まえた事業の課題

施設は昭和62年(1987年)に建設され、30年以上が経過しています。平成28年度に行いました空調設備改修工事 153,904千円のほか、平成29年度は自動火災報知設備取替修繕6,685千円、減圧水槽取替修繕2,894千円など、経年劣化による修繕が多発しております。今後も施設を維持管理するためには、老朽化した会館の維持補修を計画的に行い、優先順位を検討したうえで、利用者に安心・安全に利用してもらえる事業運営に努める必要があると考えられます。